

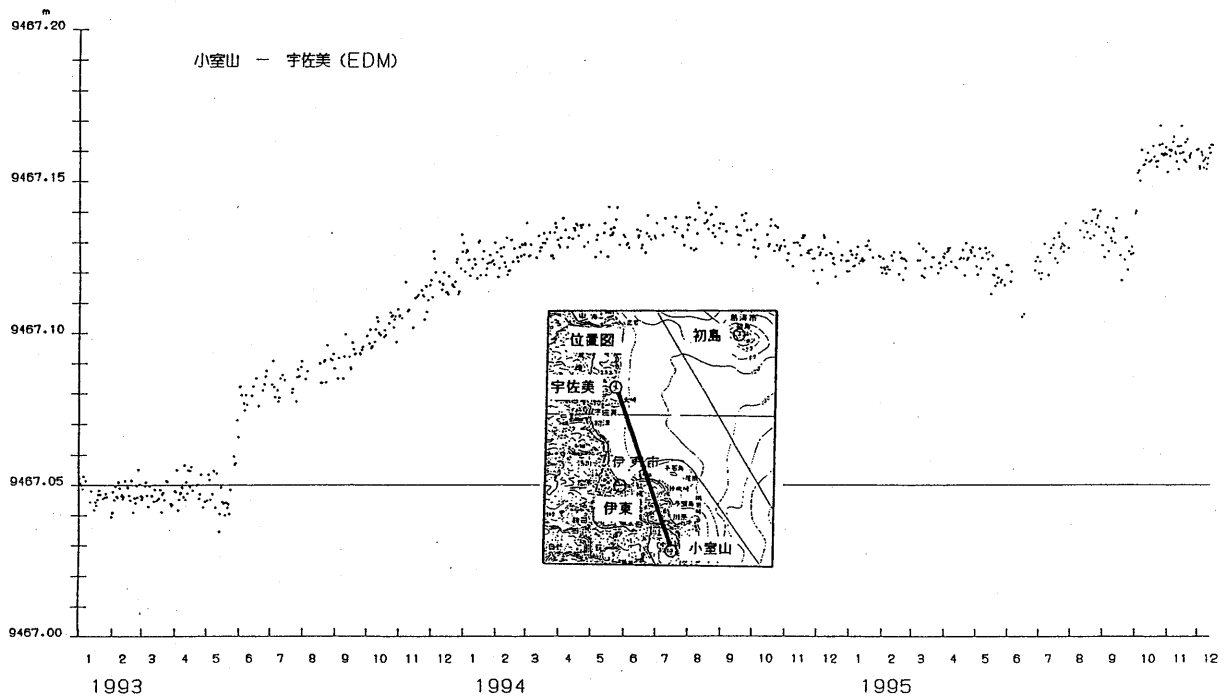
伊豆半島の地殻変動*

Crustal Deformations in the Izu Peninsula

国土地理院
Geographical Survey Institute

伊豆半島北東部では1995年9月下旬～10月上旬にかけて群発地震活動があったが、その後は静穏な状態が続いている。このことに対応して地殻変動も大きな変化は観測されていない。第1図は小室山－宇佐美間の光波連続測距結果で、気象要素に起因する季節的な変化は取り除いてある。1996年10月以降は変化はない。第2, 3図は網代地区、川奈地区の精密辺長測量結果である。川奈地区では各辺長ともやや伸びており、これまでの傾向に調和的である。第4, 5図はGPS連続観測を広報暦で解析した結果で、左側に基線長変化を、右側に対応する比高変化を示してある。各基線長、比高とも大きな変化はないが、初島－小室山間の基線長が伸びる変化が継続している。

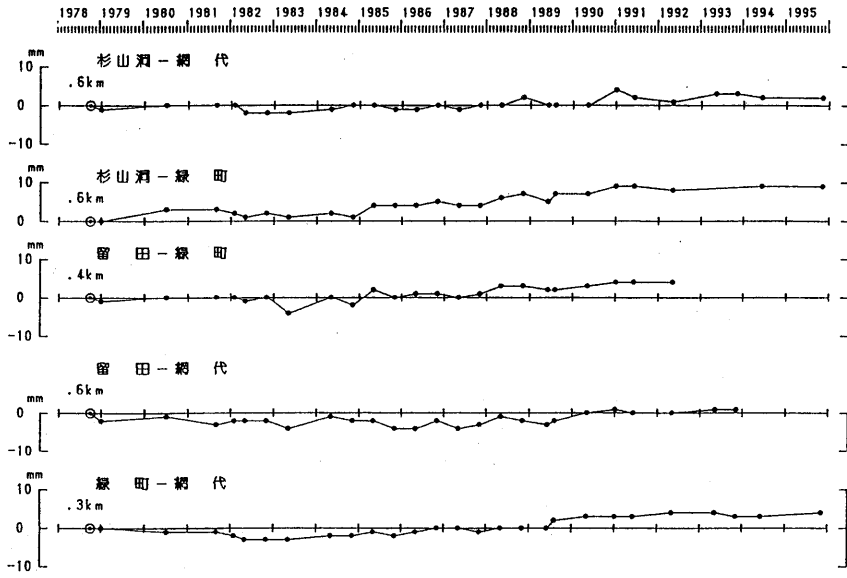
第6図は1995年11月－12月に実施した伊豆半島東岸の熱海－伊東－河津間の水準測量結果である。量は少ないが伊東から河津の間で隆起が観測されている。第7, 8図は各験潮場間の月平均潮位差である。第7図最上段の伊東－油壺の右端の変化は上述の群発地震活動に伴う伊東の隆起である。



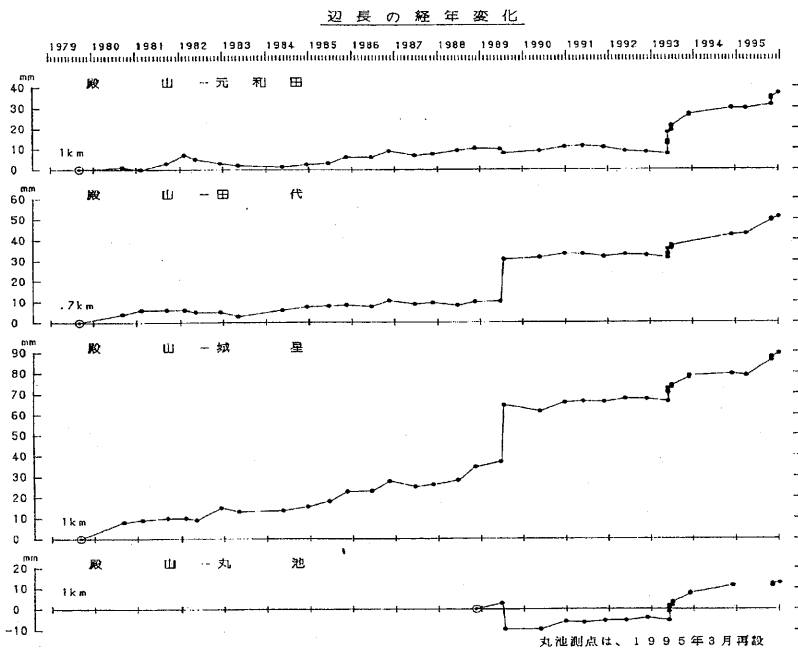
第1図 光波測距儀による伊東市周辺の距離連続観測結果(日平均)
Fig. 1 Continuous distance change observation with EDM around Ito City (daily mean)

* Received 8 Apr., 1996

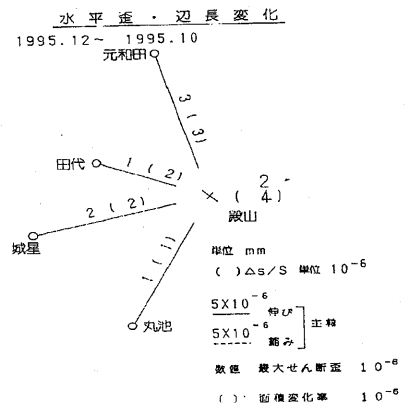
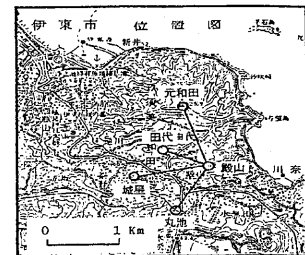
辺長の経年変化



第 2 図 網代地区精密辺長測量結果
Fig. 2 Results of precise distance measurements at Ajiro radial baseline.



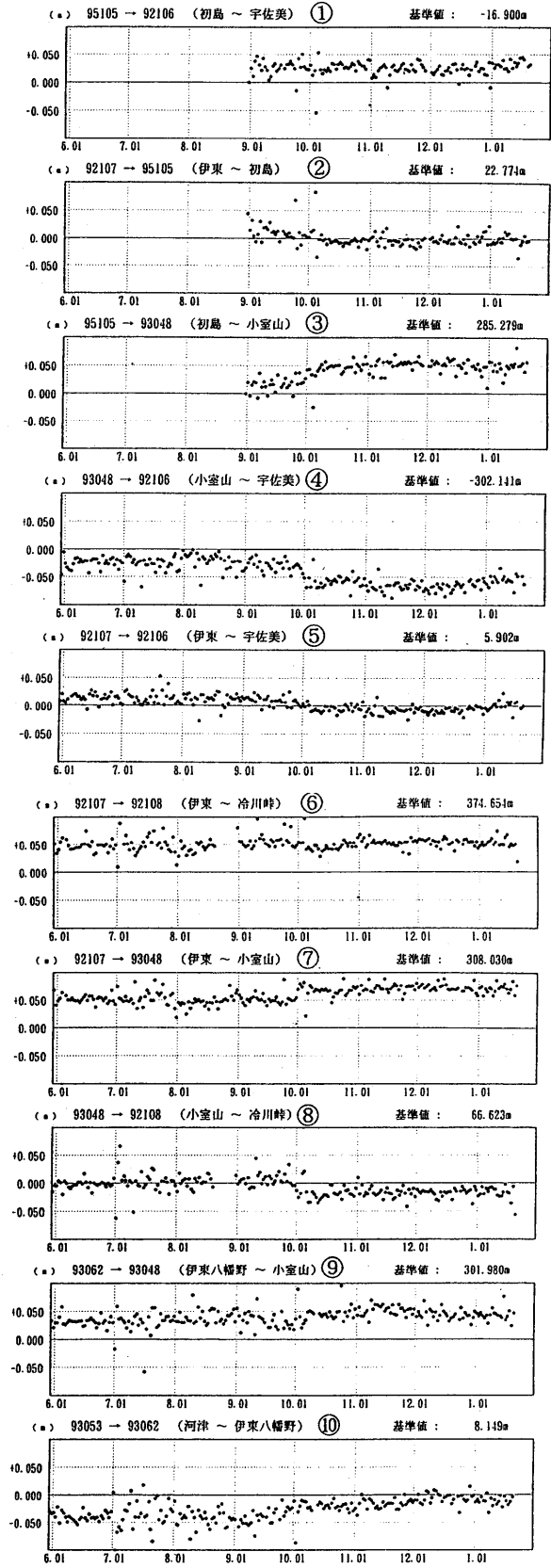
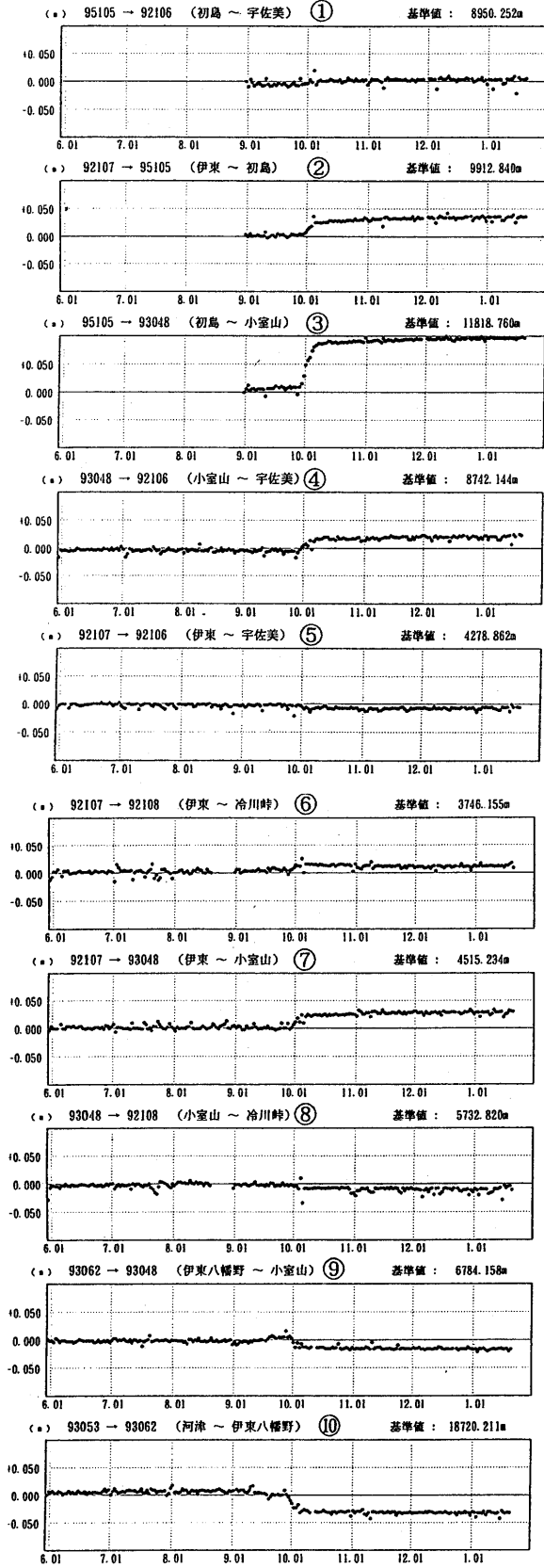
第 3 図 川奈地区精密辺長測量結果
Fig. 3 Results of precise distance measurements at Kawana radial baseline.



基線長変化 精密層

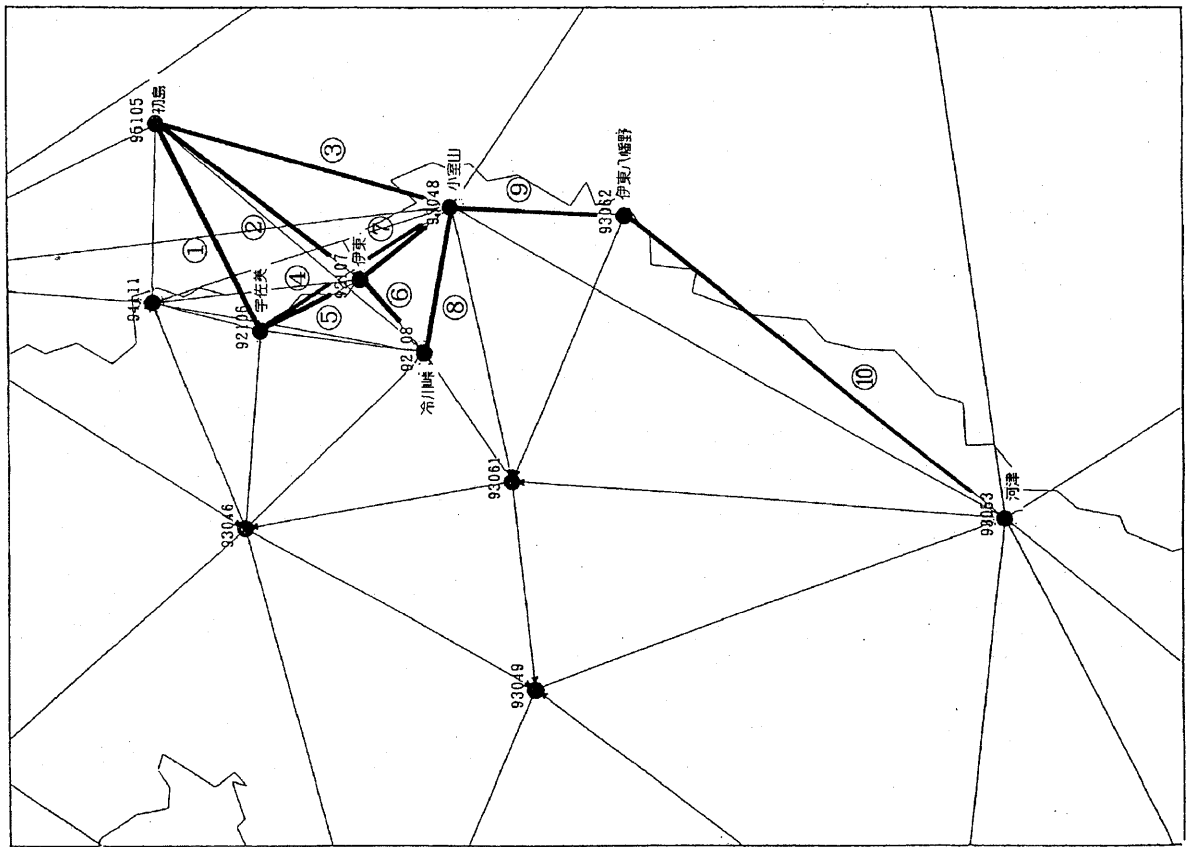
比高変化 精密層

1996年1月20日

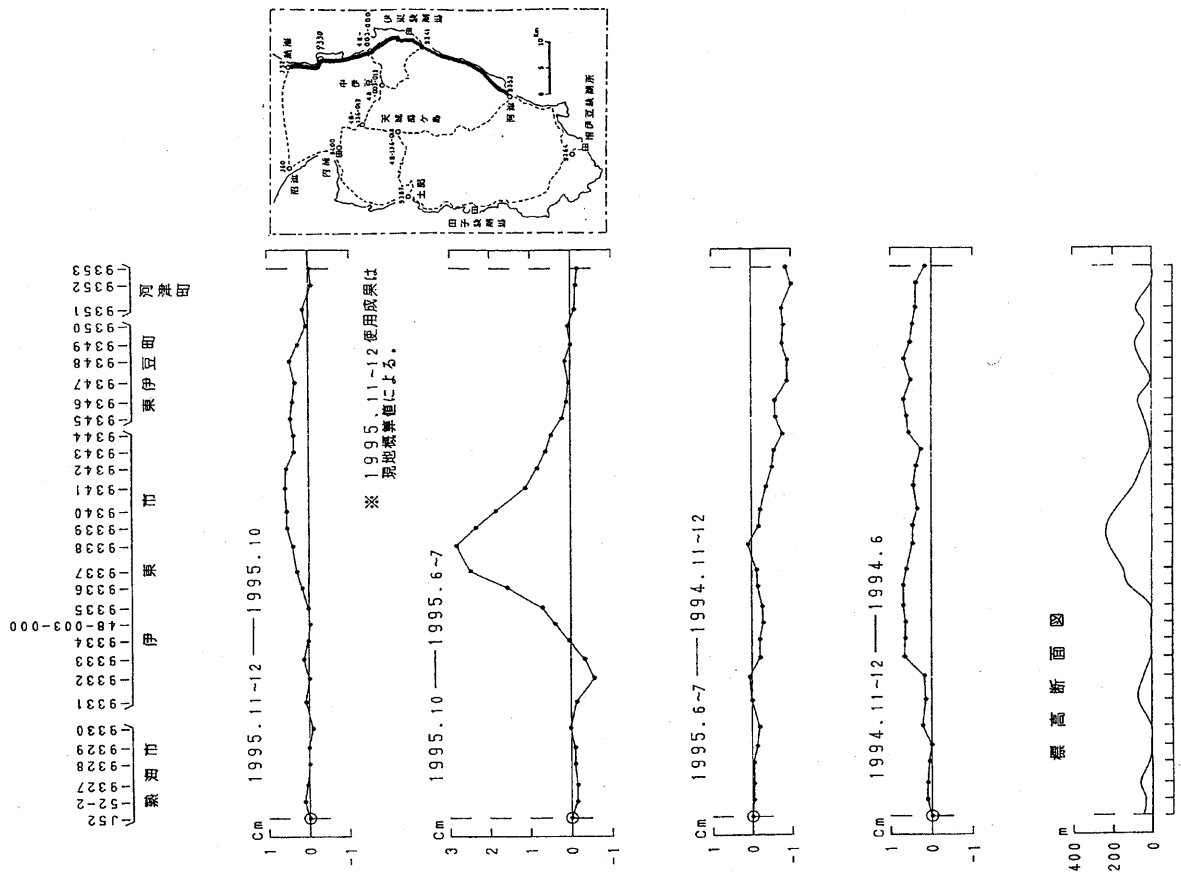


第 4 図 伊東地区 GPS 観測結果

Fig. 4 Results of the continuous GPS observation in the Ito area.

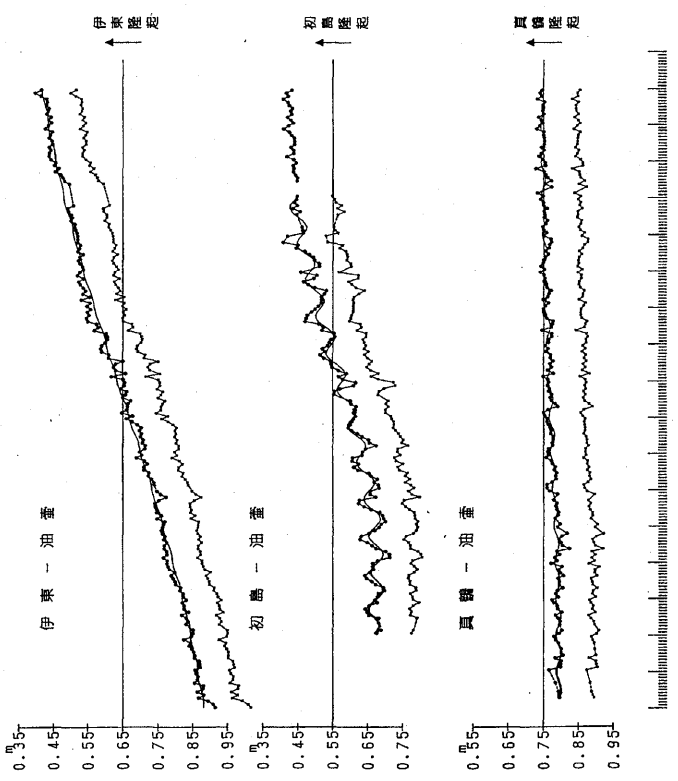


第 5 図 伊東地区 GPS 連続観測基線図

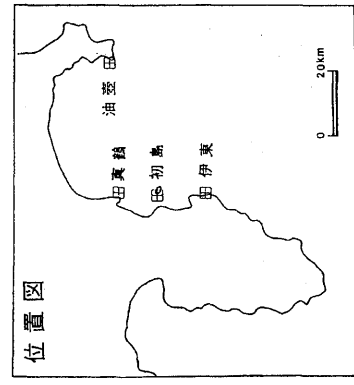


第 6 図 熱海～伊東～河津間の上下変動
Fig. 6 Level changes along the route from Atami to Kawazu, via Ito.

1979 1980 1981 1982 1983 1984 1985 1986 1987 1988 1989 1990 1991 1992 1993 1994 1995 1996

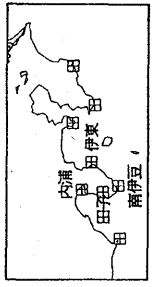
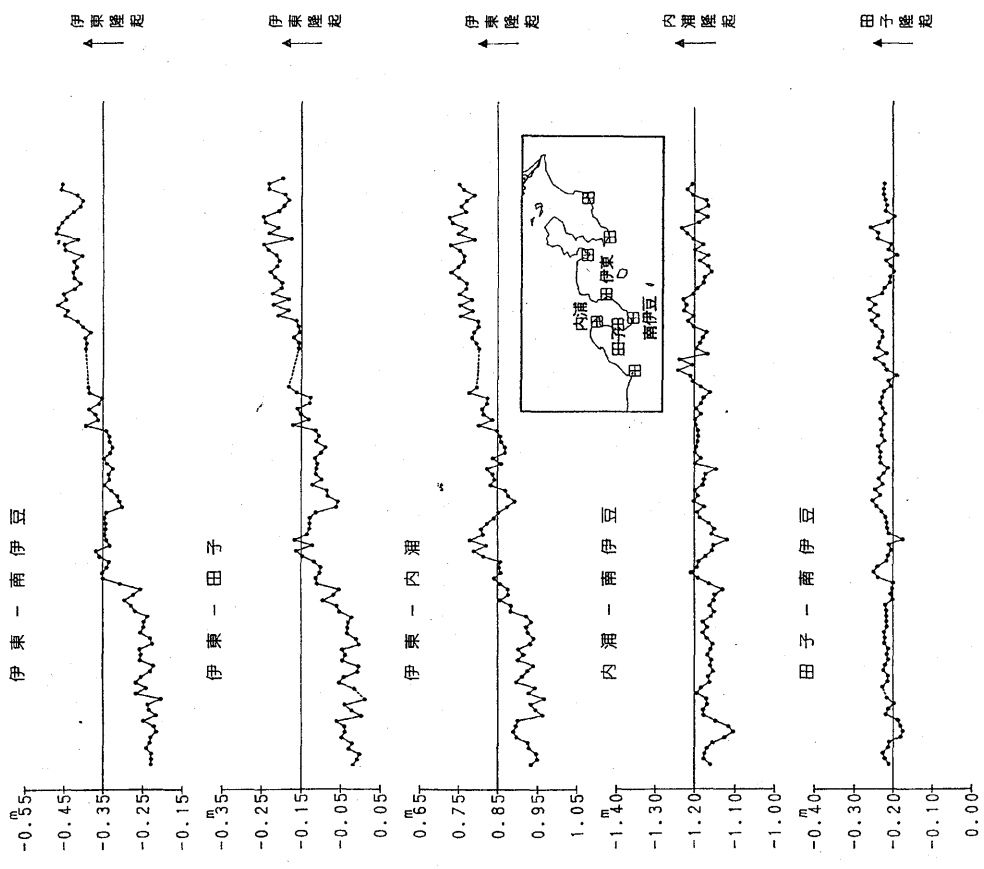


田子地理院資料
 上段：観測値および近似曲線
 下段：年周変化を補正した値
 初島 1993年5月センサー交換



第 7 図 伊東、油壺、初島、真鶴験潮場間の月平均潮位差
 Fig. 7 Differences in monthly mean sea levels between the Ito, the Hatsusima, the Manazuru and the Aburatsubo tide station.

87 88 89 90 91 92 93 94 95 96



第 8 図 伊豆地方各験潮場間の月平均潮位差
 Fig. 8 Differences in monthly mean sea levels between the tide stations in the Izu district.